

【松江市史講座】

日時：平成28年8月20日（土）14:00～15:45
講師：堀田浩之（県立歴史博物館 学芸課長）

「近世城郭と城下の空間設計
—松江城と姫路城の事例から—」

I. 松江城の個性とは

- ◆ 松江城の縄張と空間のイメージ
- ◆ 伊予松山城の事例から／本丸・二ノ丸・三ノ丸
- ◆ 浜田城の事例から／橋を介した二つの世界／南東麓に大手・御殿
- ◆ 丸亀城の事例から／天守のイメージ

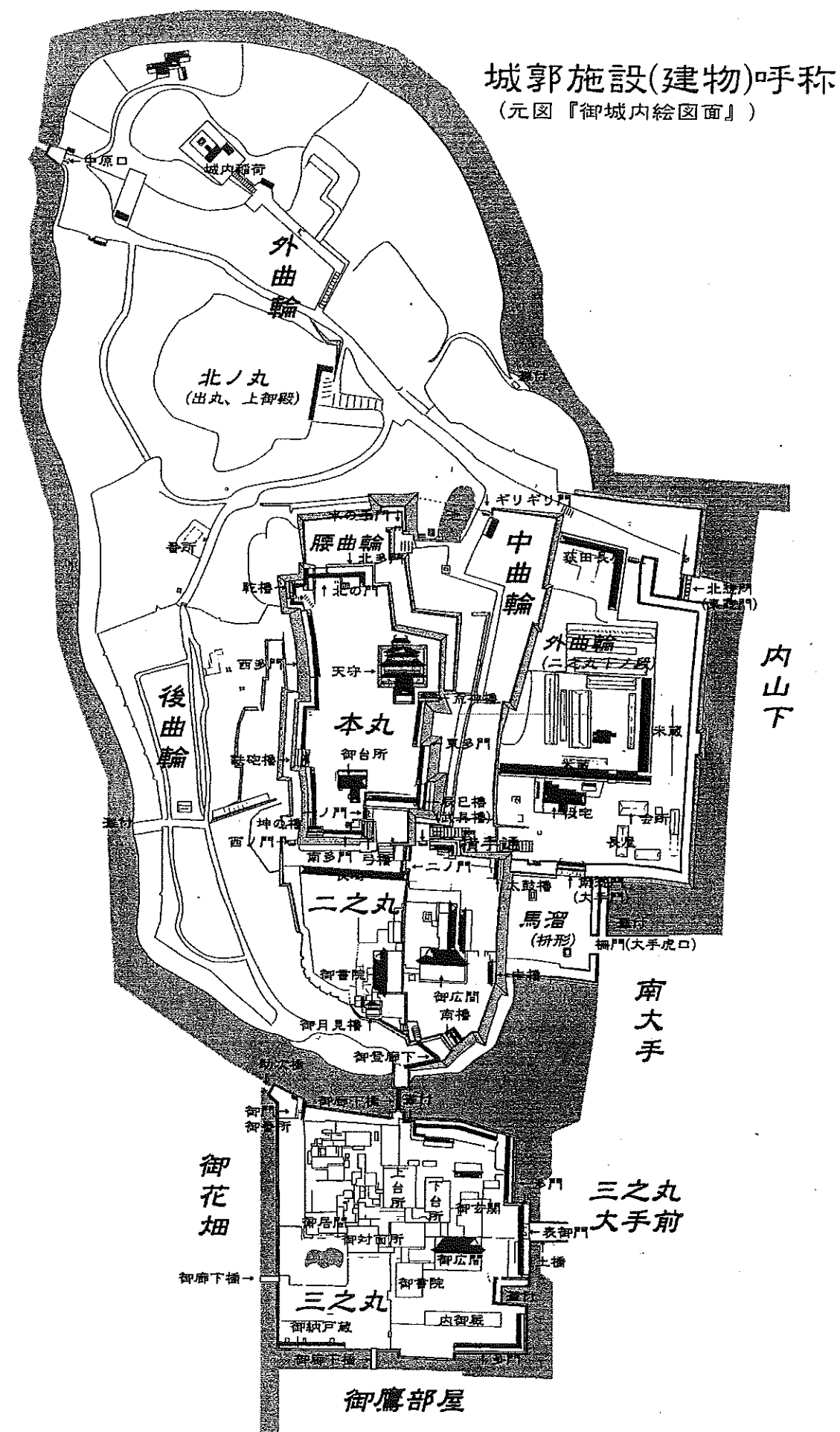
II. 姫路城の事例との比較検討

- ◆ 地形相応の縄張（姫路）／方格プラン（明石）／軍学の作為（赤穂）
- ◆ 城山（龍野）／城山相応（姫路）／城山超越（明石）／城山なし（赤穂）
- ◆ 姫路城の狭間・石垣学習の事例から
- ◆ 姫路城の空間構成を読む（左渦巻き／新旧の町割り・座標／山アテ）
- ◆ 松江城の空間構成を読む（築城系：正南北／自然系：西傾ライン／他）

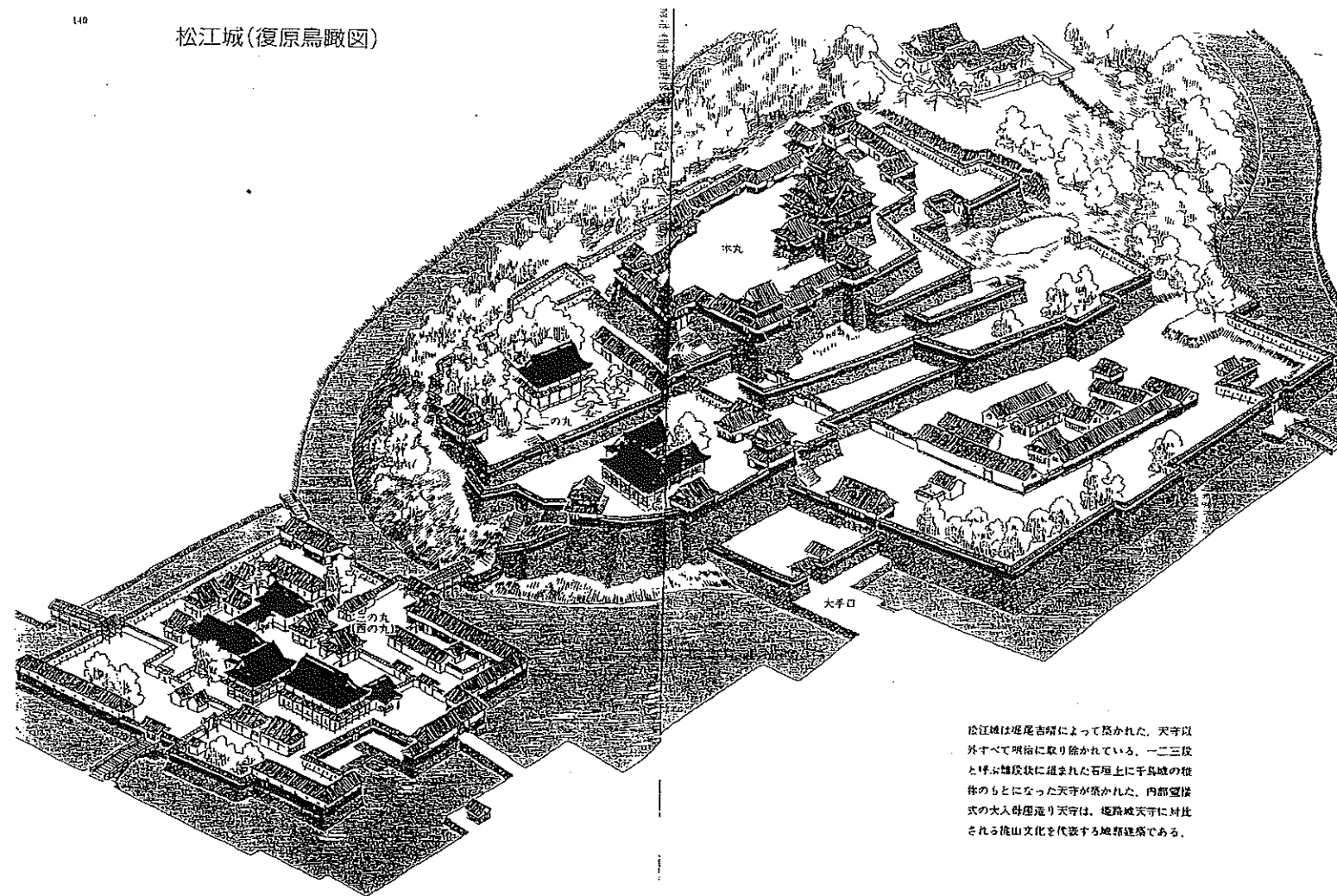
III. 姫路城の現在／文化財としての城・まちづくり

- ◆ 姫路城の平成修理
- ◆ 姫路城のディテール

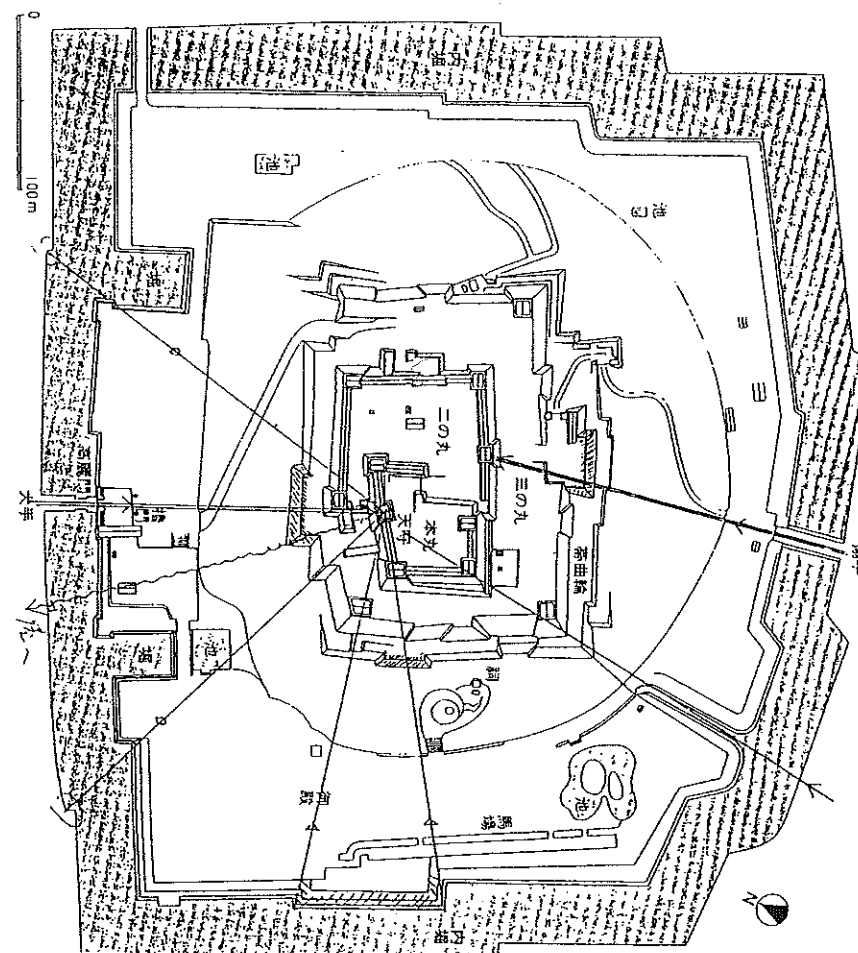
※ 本日は、姫路城など他の城郭との比較で、松江城の個性について紹介してまいりました。斬新な視点を提供できたと思いますので、今後の松江城研究の参考にいただければ、幸いに存じます。



松江城(復原鳥瞰図)

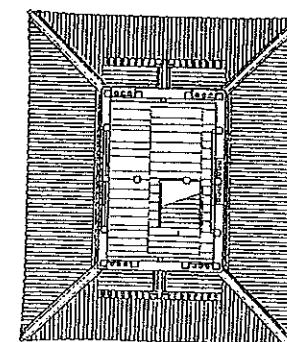
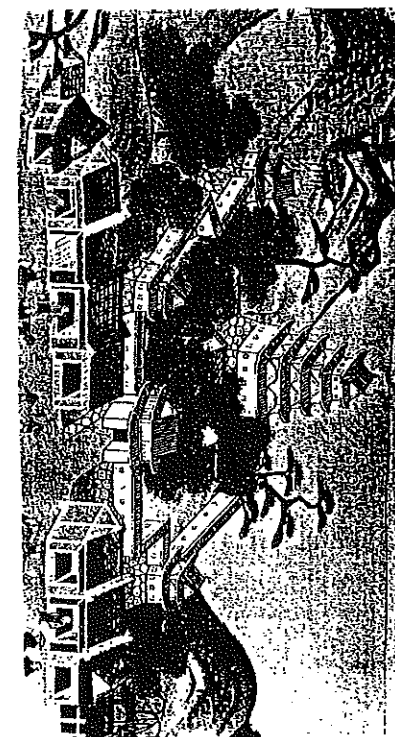
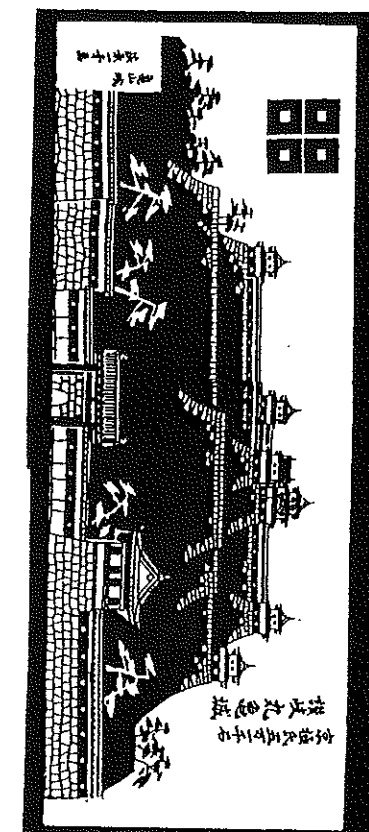


松江城は堀尾吉晴によって築かれた。天守以外すべて明倫に取り除かれている。一二三段と呼ぶ雄略状に建たれた石垣上に千鳥城の模様のもとなった天守が築かれた。内部望楼式の大入母屋造り天守は、姫路城天守に對比される桃山文化を代表する城郭建築である。

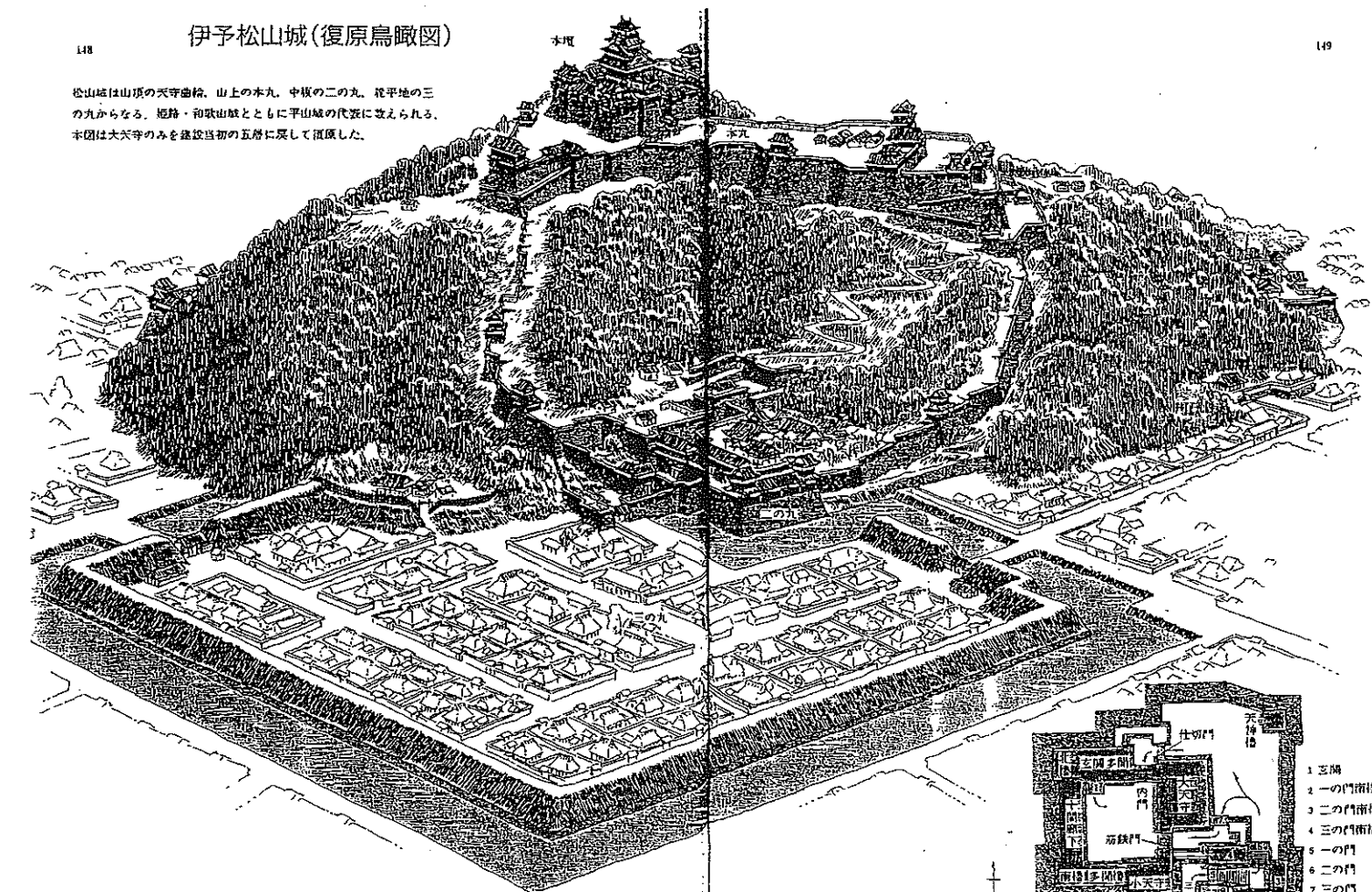


丸亀城

東海道図説(徳府の部分) 当院蔵

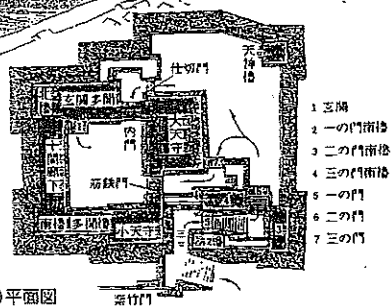


伊予松山城(復原鳥瞰図)



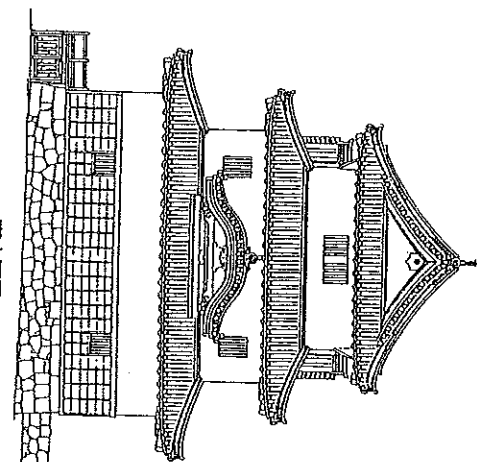
松山城は山頂の天守曲輪、山上の本丸、中核の二の丸、麓平地の三の丸からなる。姫路・和歌山城とともに平山城の代表に数えられる。本図は大天守のみを建設当初の五層に戻して復原した。

本丸本陣(天守曲輪)平面図

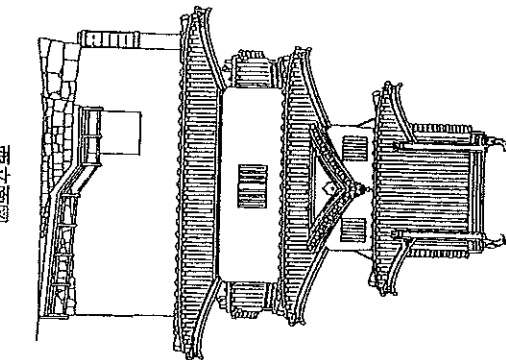


- 1 五層
- 2 一の門南後
- 3 二の門南後
- 4 三の門南後
- 5 一の門
- 6 二の門
- 7 三の門

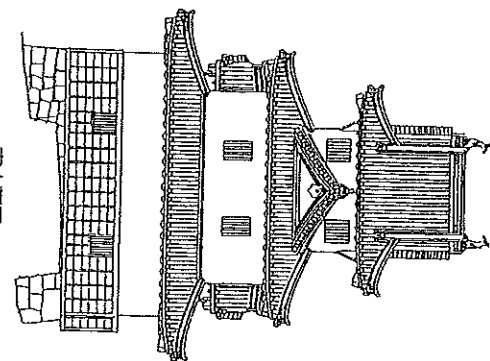
南立面図



西立面図



東立面図



天守北立面図

